

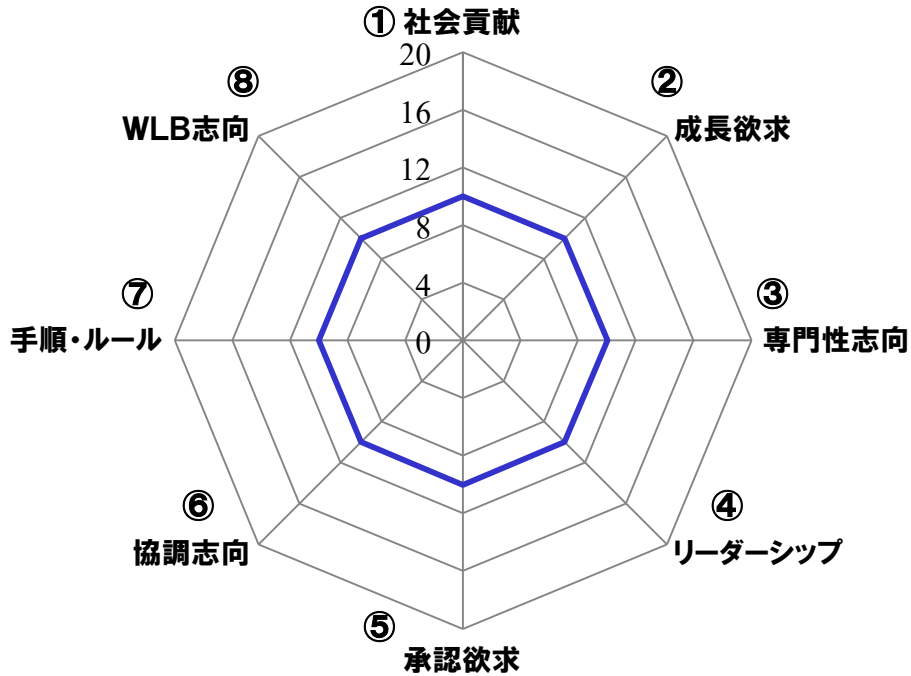
モチベータ診断

自分のモチベーションの自己診断してみましょう。あまり考え込まず、直感で回答しましょう。
回答し終わったら、4つの設問ごとに回答結果を足し算してください。

	全くあてはまらない	1	2	3	4	5		
1. 地域やオフの活動でも仕事のことが役立つている	1	2	3	4	5		①	点
2. 自分は意義のある仕事をしている	1	2	3	4	5			
3. 今の仕事は、友人や家族に自慢できる	1	2	3	4	5			
4. 病院（施設）の理念を実践している	1	2	3	4	5			
5. 自分に合った仕事をしている	1	2	3	4	5		②	点
6. 仕事における権限や自身で判断できる事が増えている	1	2	3	4	5			
7. 自分の経験を、いかせる仕事をしている	1	2	3	4	5			
8. 自分の好きな仕事をしている	1	2	3	4	5			
9. 自主的に勉強して技能を磨きノウハウを蓄積している	1	2	3	4	5		③	点
10. 自分のニーズにあった教育・研修を受講できている	1	2	3	4	5			
11. 医療の質を高めるために自分が何をすべきか理解している	1	2	3	4	5			
12. 仕事に自分らしいこだわりを持ち、専門性を発揮している	1	2	3	4	5			
13. 仕事を通して、自分の考え方や発想を表現している	1	2	3	4	5		④	点
14. 仕事の中で、自分の個性を発揮している	1	2	3	4	5			
15. 仕事の中で自分の気持ちや意見を主張している	1	2	3	4	5			
16. 仕事の中で複数の人の意見をまとめている	1	2	3	4	5			
17. 上司や仲間から期待されている	1	2	3	4	5		⑤	点
18. 自分の仕事が、まわりから評価されている	1	2	3	4	5			
19. 自分に期待された成果を達成している	1	2	3	4	5			
20. 周囲からのフィードバックが仕事の質を高めている	1	2	3	4	5			
21. 仕事仲間との交流を楽しめている	1	2	3	4	5		⑥	点
22. 職場では必要なコミュニケーションが取れていると思う	1	2	3	4	5			
23. 自分が忙しくても、困っている仲間をサポートしている	1	2	3	4	5			
24. 仕事を進める上で他の職種の職員と連携しやすい	1	2	3	4	5			
25. 今の仕事には、しっかりしたマニュアルがある	1	2	3	4	5		⑦	点
26. 職場の皆が従うべきルールが、明確になっている	1	2	3	4	5			
27. 設備や立地条件等の環境が整った職場で働いている	1	2	3	4	5			
28. 仕事を進める上で、必要な情報や材料、道具、手順などを与えられていると思う	1	2	3	4	5			
29. 家族や親しい友人と過ごす時間がとれている	1	2	3	4	5		⑧	点
30. プライベートで集中できる趣味や過ごし方がある	1	2	3	4	5			
31. 仕事とプライベートの比重に満足している	1	2	3	4	5			
32. 家族は私が医療職として働くことに賛同している	1	2	3	4	5			

モチベータ・チャート

前ページのチェック結果を、下記のレーダーチャートに集計してください。



モチベータ	タイプ	モチベータの意味	思い当たること
社会貢献	公的 有意義性	地域や人の役に立ちたいという使命感で医療に携わること	
成長欲求	キャリア 志向	仕事自体が好きか、自分に合っていて、成長したいこと	
専門性志向	スペシャリ スト型	仕事内容を理解し、経験を積み重ねて特定の知識やスキルを高めたいこと	
リーダー シップ	チーム 運営志向	自分の考えや進め方でチームをけん引し、目標を達成すること	
承認欲求	フィード バック性	職場で、上司やまわりから寄せられる期待や信頼・評価されること	
協調志向	チーム ワーク性	職場でのコミュニケーションの円滑さや協調性、関係性への志向	
手順・ ルール	マニュアル 志向	業務手順が明確になっていること、病院の設備、立地といった職場環境が快適であること	
WLB志向	プライベート 充実型	家族や親しい人からの仕事の理解があること。また仕事と余暇のバランスがとれていること	

モチベータ(やる気のもと)の意味

【社会貢献】－公的有意義性－

地域や人の役に立つ仕事という考えがあり、中長期的な視野で医療や病院の在り方を捉える志向性です。これがプラス・モチベータになっている場合は、地域や人に貢献できているという達成感があります。マイナス・モチベータになっている場合は、目先の仕事に振り回されている、人の役に立てている実感がない気持ちが、やる気を下げています。

【成長欲求】－キャリア志向－

今の仕事や職場環境を通じて、さらに自分を高めたいという志向性です。これがプラス・モチベータになっている場合は、いきいきと前向きに仕事ができます。マイナス・モチベータになっている場合は、今の仕事が自分に合わないのではないか、今の職場では自分は成長できない、という気持ちがやる気を下げているといえます。

【専門性志向】－スペシャリスト型－

特定の技術領域や職務内容への理解度・習熟度を通して、業務を遂行したい志向性です。これがプラス・モチベータになっている場合は、今までの知識・スキルや経験に自信を持ち、他者をサポートするなど、自信を感じている状況です。マイナス・モチベータになっている場合は、知識・スキルを磨けていない、経験がなくて焦っている、という気持ちがやる気を下げています。

【リーダーシップ】－チーム運営志向－

チーム内での、自分の考え、進め方に沿って目標を達成する志向性です。これがプラス・モチベータになっている場合は、チーム内でのリーダー的役割をスムーズに実行し、仕事ができます。マイナス・モチベータになっている場合は、考えや進め方を活かさない、メンバーをうまくまとめられないという気持ちがやる気を下げているといえます。

【承認欲求】－フィードバック性－

職場で、上司、先輩、周囲の同僚から寄せられる期待、信頼、評価に応えたいとする志向性です。これがプラス・モチベータになっている場合は、周囲が期待する成果を仕事で出せていると感じています。マイナス・モチベータになっている場合は、自分の役割や成果が評価されていないという気持ちがやる気を下げています。

【協調志向】－チームワーク性－

職場でのコミュニケーションの円滑さや協調性、周囲との関係性を重視する志向性です。これがプラス・モチベータになっている場合は、チームワークがうまくいっていることがやる気をさかせています。逆にマイナス・モチベータになっている場合は、人間関係に問題を感じていたり、コミュニケーションがうまくとれない気持ちが、やる気を下げています。

【手順・ルール】－マニュアル志向－

仕事を進める上で手順が明確であることや、必要な道具や機器が整っていることを求める志向性です。これがプラス・モチベータになっている場合は、職場環境や仕事の手順が整備されていることがやる気をさかせています。逆にマイナス・モチベータになっている場合は、道具や機器の扱い方がわかりにくいことや、仕事の手順が整備されていないことへの不安・不満がやる気を下げています。

【WLB志向】－プライベート充実型－

家族が医療職として働くことに賛同していたり、仕事とプライベートのバランスといった仕事以外の生活への影響を重視しています。これがプラス・モチベータになっている場合は、家族から仕事を応援されていること、私生活が充実していることがやる気を支えています。逆にマイナス・モチベータになっている場合は、仕事が忙しく、私生活を十分楽しめないことがやる気を下げています。